

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	21	B	80	C	3	D	0			
		A	12	B	55	C	3	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	6	B	21	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	3	B	4	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。												
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	12	B	67	C	2	D	0			
		A	6	B	45	C	2	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。										
		A	5	B	20	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	1	B	2	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。												
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	A	2	B	16	C	2	D	0	II	【会津大学】 過去の受験実績等を検証し、関心が高い高校への重点的な高校訪問のほか、オープンキャンパス、進学説明会等の広報活動に積極的に努め、一般入試の志願倍率が5.8倍となり、年度計画を上回ったことは評価できる。	
		A	1	B	11	C	2	D	0			
		(会津大学) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、大学院の留学生確保などの取組を計画どおり実施した。一般入試の志願倍率は目標値を上回ったが、高等専門学校向けの活動が低調であったほか、博士前期課程の定員充足率が目標値に対し8割を下回る実績となった。										
		A	1	B	5	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、入学生アンケートを踏まえた広報改善などの取組を計画どおり実施し、一般入試の志願倍率は目標値を上回った。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通)												
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	A	4	B	30	C	0	D	0	II	【会津大学】 博士課程の学位授与方針を見直したことや英語の授業科目割合が年度計画を上回ったことは評価できる。また、新規導入したe-ラーニングによる英語教育を充実させ、学生の語学能力の向上を図り、TOEIC到達目標を達成したことは評価できる。	
		A	3	B	22	C	0	D	0			
		(会津大学) 大学が育成を目指す人材像を理解してもらうため学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、4学期制の導入、シラバスの英語化などの取組を計画どおり実施した。学部1年生のTOEIC到達度、英語による授業科目数などは目標値を上回る実績となった。										
		A	1	B	8	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 大学が育成を目指す人材像を理解してもらうため学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などの取組を計画どおり実施した。各学科の免許・資格取得希望者の取得率、食物栄養学科及び幼児教育学科の免許資格関連職への就職率は目標値を上回る実績となった。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通)												

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	3	B	8	C	0	D	0	II	【会津大学】 施設・設備の機能維持を図るため、予定していた修繕・更新を行い、加えて突発的に生じた不具合・問題がある箇所にも緊急に対応したことや、安定した教育環境の提供のため、セキュリティ監視等学内ネットワークシステム全般を刷新したことは評価できる。また、国際公募により優秀な人材の確保に努め、専任教員の割合が目標を上回ったことは評価できる。  【会津短期大学部】 学習環境の向上のため、現行よりセキュリティに優れた学務システム・ネットワークシステムを導入し、かつ安定した実施・運用を達成できたことは評価できる。
		A	1	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) 学内ネットワークシステムの環境整備、教員研修、教員国際公募などの取組を計画どおり実施した。外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合は目標値を上回る実績となった。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学内ネットワークシステムの環境整備、実習機器の更新整備などの取組を計画どおり実施した。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	3	B	13	C	0	D	0	II	【会津大学】 学生支援について、全ての学生に担当教員を配置する制度に見直したことや、成績不振の学生に対しては、教員や学生課職員、カウンセラー、修学支援員等の連携による複数回の面談実施等きめ細やかな支援を行ったことは評価できる。また、経済的負担の軽減を目的に授業料減免を継続して実施するほか、寄附金を活用してプリペイドカードの支給を行う等学生支援金活用制度を新設したことは評価できる。  【会津短期大学部】 学生寮の生活環境の改善のため、スポットクーラーの設置等施設・設備の改修を優先して実施したことや、教務厚生委員に対し寮運営への積極的な参加を促したことは評価できる。
		A	1	B	8	C	0	D	0		
		(会津大学) 学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援などの取組を計画どおり実施した。学生への経済的支援のため、会津大学学生生活支援会からの寄附金を活用してプリペイドカード支給などを行った。									
		A	2	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 学生支援に関する方針の検討、就職支援、一箕寮の運営改善などの取組を計画どおり実施した。一箕寮の生活環境改善を実施したほか、学生への経済的支援のため、会津大学学生生活支援会からの寄附金を活用してプリペイドカード支給などを行った。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	8	B	9	C	1	D	0	/	
		A	5	B	6	C	1	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、概ね予定した成果を上げることができた。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	2	B	2	C	0	D	0		
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	6	B	8	C	1	D	0	II	【会津大学】 研究科、学部各部門、各センター間の相互交流・産学官連携の促進及び最新技術の動向把握により、最先端の研究開発を推進した結果、学術論文の引用件数が目標より高い実績を残したこと、また特に「はやぶさ2」プロジェクトの貢献により、国内外での大学の認知度を高めたことは評価できる。  【会津短期大学部】 地域の課題解決を目的に、基礎的・応用的研究や地域実践研究に取り組み、かつ研究成果を学術機関リポジトリやWebサイトで公表したこと、さらに公表された研究活動数が目標値を上回ったことは評価できる。
		A	5	B	6	C	1	D	0		
		(会津大学) 研究科、学部各部門、各センターにおいて年度計画どおり研究に取り組んだ。論文被引用件数は目標値を上回ったものの、科研費新規採択率は目標値に対し、8割を下回る実績となった。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果を公表する取組などを年度計画どおり実施した。公表活動数は目標値を上回る実績となった。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	1	C	0	D	0	II	【会津大学】 研究費予算の確保及び有効活用のため、研究費の統廃合を実施したこと、また研究費の部門の見直しも図り、先端研究を促進する部門と地域・復興に関する課題対応の部門を新設したことは評価できる。  【会津短期大学部】 研究に必要な施設・設備の改修・更新を図り、研究環境の適切な維持管理に努めたことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
		(四大・短大共通) 研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行に関する取組を年度計画どおりに実施した。									
3	国際化に関する目標を達成するための措置	A	1	B	4	C	0	D	0	II	【会津大学】 シリコンバレーと大連の海外インターンシッププログラムの充実を図ったほか、特に大連においては産学官連携の事業開発プログラムの整備に取り組んだことや参加した学生がコンテストに応募する等着実に研修成果が出ていることは評価できる。また、積極的なリクルーティング活動により、全学生数に対する外国人留学生の割合が年度計画を上回る9.1%を達成したことは評価できる。
		A	1	B	4	C	0	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。全学生数に対する外国人留学生数の割合は目標値を上回る実績となった。									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
		(四大・短大共通)									
第2	地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	13	B	14	C	0	D	0		
		A	10	B	11	C	0	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	2	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
1	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	7	B	8	C	0	D	0	I	【会津大学】 地域貢献の取組として、以下が評価できる。 ・大学施設の外部利用を促進し、使用料収入が増加した点 ・全国高等学校パソコンコンクールにおける人材育成の功績が認められた点 ・コンピュータサイエンスサマーキャンプの応募数の増加に伴い実施規模の拡大に努めた点 ・連携協定した自治体への継続したICT支援に努めた点 ・県立医科大学との共同研究を継続している点 ・大学発ベンチャー企業の開発技術を地域で活用した点 ・先端ICT技術の開発及び実証を行う学生の支援に取組み、かつ学生の活動成果が表彰された点 また、こうした取組から、着実に会津大学の取り組みが県内外で認知され、需要が高まっていることは評価できる。  【会津短期大学部】 シーズ集の配布及び学生参画型実学・実践教育の実施により、地域における協働・連携の拡大を図ったことやWebサイト掲載等広報の促進に努めたことにより、派遣講座の実績が目標値の2倍と大きく上回ったことは評価できる。	
		A	5	B	6	C	0	D	0			
		(会津大学) 一般市民向けの公開講座、パソコン甲子園等の開催、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組などを年度計画どおり実施した。県立医大との新たな共同研究の開始、支援事業を通じた学生の活動成果が複数表彰を受けるなど多くの取組が計画を上回った。										
		A	1	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組を年度計画どおり実施した。派遣講座は年度計画を上回る実績となった。										
		A	1	B	0	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) 外部利用が可能な施設の利用拡大の取組を年度計画どおりに実施した。四大の講堂、講義室の利用は件数が大きく増加し、使用料収入増加につながった。										
2	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	A	3	B	1	C	0	D	0	I	【会津大学】 県内ICT企業と連携し、女性就労支援に努め、就労実績(56名)が年度計画を上回ったこと、また大学発ベンチャー起業の支援に取り組み、年度計画を上回る3社を認定したほか、企業への継続的な優遇策を図ったことは評価できる。	
		A	3	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学) 「女性プログラマ育成塾」の運営を通じた県内就労支援、大学発ベンチャー認定企業への支援などの取組を計画どおり実施した。県内IT企業等への就労女性数、新たな大学発ベンチャー企業の認定などは目標値を上回る実績となった。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部)										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(四大・短大共通)										
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	A	3	B	5	C	0	D	0	I	【会津大学】 県内企業・自治体との積極的な連携に努め、AOI会議の開催数が目標を上回ったことは評価できる。 また、先端ICTラボの活用により、福島県立医科大学との連携による県民の健康管理に対する支援や福島県警察本部との連携によるサイバー犯罪防止に関する研修の開催等に継続して取り組んだことは評価できる。  【会津短期大学部】 復興支援のため、大熊町に対する教育支援に継続して取り組んだこと、また地域活性化センターを活用し、被災地での植樹活動など地域との協働・連携事業に積極的に取組み、目標の実施件数を達成したことは評価できる。	
		A	2	B	4	C	0	D	0			
		(会津大学) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した先端ICTラボの活用、ロボット人材育成などの取組を計画どおり実施し実施した。先端ICTラボのクラウド利用率は目標値の8割未満だったものの、AOI会議の開催回数は目標値を上回る実績となった。										
		A	1	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 大熊町立小中学校への支援、地域との協働連携の取組を計画どおり実施した。復興支援に関する地域との協働・連携事業件数は目標を達成した。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(四大・短大共通)										

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	10	B	28	C	0	D	0	II		
		A	3	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	1	B	3	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	A	1	B	9	C	0	D	0	II		
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学)										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部)										
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	0	II	【共通】 行動規範の遵守のため、全職員宛のメールにより周知徹底を行ったことや人員体制の検証・見直しによる計画的な職員の採用を行ったことは評価できる。	
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学)										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部)										
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	0	II	【共通】 会議時間の短縮のため、資料の事前配布を行ったことや資料のペーパーレス化等によるコピー用紙購入量の削減目標を達成したことから、事務の効率化・合理化に努めたことは評価できる。	
		A	1	B	1	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針などの取組を計画どおり実施した。										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部)										
(四大・短大共通) ペーパーレス会議などの取組を計画どおり実施した。コピー用紙購入量は計画を上回って目標を達成した。												

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	5	B	2	C	0	D	0			
		A	2	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。										
		A	3	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。												
(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	2	B	2	C	0	D	0	II	【会津大学】 大学施設の外部使用を促進するため、積極的な誘致・広報を図り、使用料収入が目標を大きく上回る実績を出したことは評価できる。 また、会津大学生生活支援会の寄附金の適正な活用及び管理・運営を図るため、学内に基金制度を設置することを決定したことは評価できる。  【会津短期大学部】 Webサイト等での広報を図り、寄附金の積極的な募集に努めたことは評価できる。	
		A	2	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学) 講堂・講義室・UBIC・先端ICTラボの施設使用料収入の増加、学生支援のための寄附金の適正な活用などの取組を計画どおり実施した。施設利用料は目標値を大きく上回る実績となった。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 寄附金確保のための取組を計画どおり実施した。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) シーズ集作成など保有する技術の発信の取組を計画どおり実施した。												
(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	A	3	B	0	C	0	D	0	II	【会津大学】 職員の資質向上のため、法人会計事務の関連研修を計画以上に多数開催したことや次期財務会計システム等の構築に向け、調査・情報収集を行い、改善点の整理に取り組んだこと、さらには財務分析結果の活用を目的とした財務レポートの策定及び公表に努めたことは評価できる。	
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学)										
		A	0	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部)										
		A	3	B	0	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 法人会計制度の研修、財務状況分析などの取組を計画どおり実施した。各種研修会・勉強会など職員の資質向上の機会を多数設けたほか、新たに財務レポートを策定し、公表した。												

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II	
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(1)	評価の充実にに関する目標を達成するための措置	A	1	B	4	C	0	D	0	II	【共通】 自己点検・評価に係る新たな取組みとして、数値目標の中間進行管理を実施し、大学内での情報共有及び目標達成に関する意識の醸成に取り組んだことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
(2)	情報発信の推進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	【共通】 年度計画や評価結果などをwebサイトで公表し、適切な情報公開に努めたこと、また大学・短大の認知度の向上のため、研究活動や表彰実績などについて積極的な情報発信を行ったことは評価できる。
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 適切な情報公開、大学の幅広い活動の情報発信の取組を計画どおり実施した。									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人の自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	A	3	B	11	C	0	D	0		
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。									
A	1	B	7	C	0	D	0				
(四大・短大共通) 全体的に年度計画どおりに取り組み、ほぼ予定した成果を上げることができた。											
(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0		
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学)									
		A	0	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部)									
A	0	B	2	C	0	D	0				
(四大・短大共通) 教職員のコンプライアンス遵守を確保する取組などを計画どおり実施した。											
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	A	3	B	3	C	0	D	0		
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 学内ネットワークシステムの24時間365日体制の監視などの取組を計画どおり実施した。									
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 新たな学務システムやコンピュータネットワークシステムの導入、図書館の狭隘化対策検討の取組を計画どおり実施した。									
A	1	B	1	C	0	D	0				
(四大・短大共通) 一箕寮の施設改修の実施などの取組を計画どおり実施した。											
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0		
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 教職員の健康診断受診率を高める取組を計画どおり実施した。									
		A	0	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 教職員の健康診断受診率を高める取組を計画どおり実施した。									
A	0	B	4	C	0	D	0				
(四大・短大共通) 教職員のメンタルヘルスチェック、防災・防犯確保などの取組を計画どおり実施した。											

【共通】  
コンプライアンスの徹底を図るため、各種研修を開催し、職員へ行動規範の周知に取り組んだことや研究者対象の研修においてはe-ラーニング研修を導入したことは評価できる。

【会津大】  
図書館の利便性を高めるため、パソコンの持込範囲の拡大や検索システムの機能向上に取り組み、学生の学習環境の改善を図ったことは評価できる。  
【会津短期大学部】  
図書館の利用促進のため、学習・閲覧スペースの拡大等を目的とする改修検討会を立ち上げ、除却規程の整備及びスケジュールの策定を行ったことは評価できる。

【会津大学】  
健康診断受診率の向上に向け、教職員には要精検該当者に対して定期的な状況確認の実施、また学生には特に受診率が低い2年生を対象としたアンケート調査及び関連する証明書発行の厳格化に取り組み、受診率が大幅に改善されたことは評価できる。  
【会津短期大学部】  
防災意識の向上を目的に、消防防災訓練の実施において過去の実施状況の検証を行い、より有意義な訓練内容に見直したことは評価できる。



2 項目別評価 総括表

評価項目	公立大学法人の自己評価								評価委員会評価	
	計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項

○総計	A	44	B	122	C	3	D	0	169
・四大	A	25	B	68	C	3	D	0	96
・短大	A	9	B	27	C	0	D	0	36
・共通	A	10	B	27	C	0	D	0	37